



は じ め に



皆様方のご支援を頂きしらかば子どもの家・ベビーホームも今年度で12年目を迎えることができました。

それもひとえに後援会の皆様の手厚い支援と、関係機関、地域住民の皆様によるご理解ご協力によるものだと感じております。

これからも、皆様に支えて頂きながら子どもたちの成長を支え見届けていきたいと思ひます。

また、最近、卒園した若者たちへの支援が重要になってきています。皆様のご支援を頂き、在園児だけでなく、卒園者への支援をより充実していきたいと思ひます。



たより「あしたば」

第17号発行
しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム

しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム
後援会

新年度が始まり、施設長が変わりました。

子どもの家の施設長だった仲嶋施設長がベビーホームの施設長に、子どもの家は男子寮の主任であった小林容子さんが新施設長に就任しました。

※ベビーホーム 仲嶋施設長挨拶※



4月1日付けで乳児院、しらかばベビーホームの施設長に着任しました仲嶋でございます。

3月までの6年間、同じ長瀬の子どもの方でお世話になりました。ベビーホームのみんなは抱っこされたりよちよち歩きながら『誰だろう?』とじっと見つめて関心を向けてくれ、可愛い表情や手振り、声を返してくれています。

社会的養育の現場はまさしく変革の時期です。スタッフのみんなとより良い養育と家族関係支援に取り組んでまいりたいと思ひます。引き続きよろしくお願いいたします。

※子どもの家 小林施設長挨拶※



3月に4名の子どもたちを送り出し、4月にはまた数名の新しい子どもたち、新しい職員を迎え新年度が始まりました。

私も男子寮主任から施設長という職務に就くことになり、物事を俯瞰的に捉えていくことの難しさを痛感しながら緊張の毎日を送っております。

学校を出ですぐに養護施設に7年ほど勤めましたが、その時の施設長に「我々が育てているのは社会の子どもです。」と何度も教えられました。当時20代の私はその意味がなかなか理解できませんでした。子育てをしている時にはいつもその言葉が頭から離れません。年月を重ね、私なりに理解をしてきたつもりではありますが、社会情勢が変化し、子どもたちの生活も大きく変化していきなで、どのように社会の子どもを育てていくか、支援していくか、そして、社会へ送りだしていくか。これは常に私の中の課題です。

学校でも生徒一人に1台のパソコンという施策が進み、デジタル社会へとめまぐるしく変化する社会の中で、大変未熟ではありますが、皆様にご支援、ご協力を頂き、また、職員と相談しながら進んでいければと思っておりますので、よろしくお願い致します。

〒239-0836
東京都世田谷区長瀬
03-5900-0101
しらかばベビーホーム

しらかば日記

卒園・入学お祝い会

今年は就職1名、大学・専門学校進学3名の計4名の卒園生を送り出しました。スーツ姿を観てつい巣立ちの季節なんだと感じ入ってしまいます。生活も大きく変わり、困難な事も多くあると思いますが、コロナにも負けず、健康第一でこれからの成長の向け、一步步進めてもらいたいと思います。また、しらかば子どもの家は卒園生の頼れる場所として、職員一同でこれからも支えていきます。皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

新入学は、高校入学3名・中学校入学5名・小学校入学3名で新しい制服に身を包み、緊張した顔つきで出席しています。これからの成長と活躍を温かく見守っていただきたいと思います。



新しい制服に身を包み少し緊張しています。



横須賀市児童相談所の所長様以下職員の方々、後援会の役員他関係者の方々にもご出席いただきました。



益子後援会長から、温かいお祝いの言葉をいただきました。そして、卒園生には卒園支援金と記念品、入学の子ども達にはお祝い品をいただきました。



いつも元気な新入生も、お祝い会の最中は静かに話を聞いていることが出来ました。えらいですね。



久里浜小学校の入学式では可愛いポーズをとって写真を撮りました。



後日、新入学の子どもたちは、にぎり一丁様から招待を受けてお寿司を食べに行きました。

毎年ありがたいことに、にぎり一丁様から招待を頂いています。

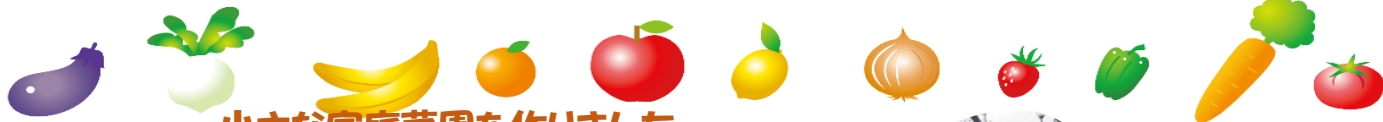
しらかばでは中々お寿司を食べる機会が少ないため子どもたちは大はしゃぎで食事中も笑顔が見られます。



みんなおいしそうにお寿司を食べていました。



しらかば 日記



小さな家庭菜園を作りました

今年は赤パプリカと甘～いえだまめ、赤ミニトマト、黄ミニトマトの苗を植えました。「まだ何もないね」とプランターを覗き込む子ども達。「みんなで水をあげて、大きくなあれって大切に育てると元気な野菜ができるんだよ」とお話をすると「楽しみだね!」「早くお野菜できないかなあ」とわくわく♪水やりお当番表を見ながら「今日は〇〇くん!」「次は〇〇ちゃん?」と自分の番がくるのを楽しみにしています。野菜が苦手なお友だちももしかしたら自分たちで育てたお野菜は食べられるかも、、、?!と私たち大人は淡い期待をしています、、、。

収穫までまだ先ですが、みんなで大事に育て、元気いっぱいの夏野菜ができるのを待ち遠しく思いながら親しみをもって野菜とふれあう機会をつくっていきたいと思います!



おいしい野菜に
育てるぞあ!



しらかばベビーホームでは地域支援活動『そらまめひろば』を開催しています



家族の入院や育児疲れによるレスパイトに対応したショートステイを実施し、三浦半島地域にある唯一の乳児院として、地域の子育て支援を実施しています。

さらに、当法人の理念でもある『みんないっしょ』の考えに基づき、老若男女（赤ちゃんからお年寄りまで）、健常者も障がいをお持ちの方々も、みんながひとりひとりの特性を認め合い、一緒に遊んだり、学んで、「楽しい」や「嬉しい」を共有できる場をつくることを目標に地域支援の活動をしていきます。そして、その活動の継続により「人と人とのぬくもり」や「地域のつながり」を感じられるような「お互い様の和」ができる地域社会作りを積み重ねていけるようにと考えています。

今年度は、乳児院の専門性を活かして、「小さいお子さんと家族」を対象にした子育て支援を継続すると同時に、他の関係機関の協力も得ながら産前・産後、産褥期の方々への支援も広げていきたいと考えています。テーマは、保育士、看護師、栄養士、心理士、ソーシャルワーカーとしての専門性を活かしたものや、職員各自が持つ“こんな事ができる”“こんな事が得意、伝えたい”等の強みを取り入れたり、また、外部へも講演依頼することで、乳児院職員、地域含めてみんなで支援の場を作って行けるよう心がけます。

・月1～2回（9:30～11:00）

・場所：久里浜コミュニティーセンター 和室 他

・テーマ：「ベビーマッサージ」「離乳食」「簡単手作りおやつ」

「ママが子どものことで困った時の対応の仕方」

「手作りおもちゃ」「おもちゃの選び方」「絵本の読み聞かせ」など

皆様の参加をお待ちしています。参加を希望される方は下記までお問合せ下さい。

しらかばベビーホーム046-874-5900（月）～（金）8：30-17：00



お誕生会

いつもみんなのお姉さんのYさんの誕生日には年少児のみんなが総出で祝ってくれましたね。

きっと記憶に残る誕生日になったと思います。



施設の入所状況 (2022年6月1日現在)

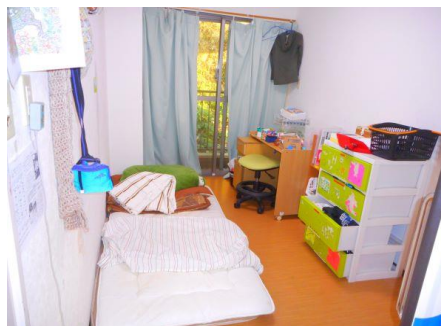
子どもの家

	男	女	合計
高等学校	5	4	9
中学校	3	5	8
小学校	6	6	12
幼稚園	2	1	3
合計	16	16	32

ベビーホーム

	男	女	合計
5歳	2	0	2
4歳	0	1	1
3歳	0	1	1
2歳	3	0	3
1歳	1	2	3
0歳	1	2	3
合計	7	6	13

内一時保護7名(男児3名、女児4名)



※子どもの家 個室の様子※

後援会が奨学金支援をしている卒園生(県立保健福祉大学生)の近況報告

3年次は、現場実習があり、ゼミ活動があり自分なりに大きく成長することができました。現場実習では、児童相談所へ行き、ソーシャルワーカーの役割を改めて考えることができました。この学びは今後に生かせるようにしていきたいです。ゼミ活動では、自分たちの考えや想いを作品という形にすることによって多くの人たちに発信することができました。また、今後の卒論や就活の取り組みがはじまっています。自分の将来について考えながらも卒業に向けて頑張りたいです。

しらかば子どもの家・しらかばベビーホーム後援会

今年もコロナウィルスの感染予防の観点から、総会は書面総会という形をとらせて頂きました。日ごろは当後援会に対し、深いご理解とご協力を賜りまして心から御礼申し上げます。書面総会の結果は別紙のとおりですが、ご承認を頂きまして誠にありがとうございます。

後援会の活動としては、卒園した大学生、専門学校生に奨学金の支援、そのほか、運転免許証などの資格取得支援や学習支援として高校生の通塾費用、年度末には卒園生や入学、進学した子に卒園・入学お祝い会で卒園支援金や記念品贈呈などの支援を行います。

残念ながら、昨年も子どもたちと会員のふれあいの場である「あしたば祭」は中止になりました。ようやくコロナの感染者も少なくなってきました。油断はできませんが、今年こそは開催できることを願っています。

2021年度後援会費入金状況(年度末)

	会員数	入金口数	金額
法人	64社	122.0	1,220,000
個人	100人	488.0	976,000
		合計	2,196,000

また、施設も年数を経て卒園者が増えてきています。それに伴って卒園者への支援が重要になっています。後援会としても卒園者への支援を充実する取り組みを応援してまいります。

これからも、子どもたちの未来のために役立つ活動ができればと思いますので、引き続き皆様の暖かいご支援をお願いいたします。

2021年12月1日～2022年3月31日までに会費(寄付金)をいただいた皆様(順不同、敬称略)
16ミリ試写室、(株)シークリスタル管財、三協ハウジング(株)、宅間文美枝、小林勇介、川口泰弘、重藤裕香

暖かくてさわやかな春もあっという間に過ぎ、梅雨の季節がやってきました。季節の変わり目は体調を崩しやすくなるため、体調管理に気をつけながら、子どもたちと楽しく過ごしていきたいと思えます。

新型コロナウイルスへの対策がすっかり“日常”となりましたが、感染者はようやく少なくなってきました。まだまだ油断はできませんが、日頃から施設の消毒や手指の消毒に心がけ、少しずつコロナ前の生活状況に戻ればと思います。引き続き皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

編集後記